

自然エネルギーで世界は大発展！

～フクシマから学ぶもの～

■河合弘之監督『日本と原発 4年後 法廷版』同時上映

東日本大震災から6年あまり。フクシマ原発の廃炉作業は進まず、汚染物質の中間処理施設の建設も足踏み状態にもかかわらず、政府は原発再稼働に踏み切りました。中国やドイツなどは自然エネルギーへの転換を宣言していますが、日本は未だに原発への依存から脱出する気配がありません。

持続可能な超高齢社会は、良好な自然環境を維持しないかぎり不可能です。安心して安全な地球環境を保持するためには、原発を廃止し、自然エネルギーに転換することが求められます。

2017年4月に、細川護熙・小泉純一郎・菅直人など元首相とともに創設した「**原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟**」の会長として活躍している吉原 毅さんから、なぜ日本は原発依存体制から抜け出せないのか、原発は安く自然エネルギーは高くつくという誤解がどこから生じてきたのか、自然エネルギーに転換することによって世界はどのように変化するのかなどについてお話しいただきます。皆さま、ふるってご参加ください。

なお、当日は、河合弘之監督『日本と原発 4年後 法廷版』（映画）を上映いたします。ご期待ください。

講師 吉原 毅

・城南信用金庫 顧問

日時：2017年9月16日(土)
14:00～16:30

場所：駒澤大学 9号館 179 教室

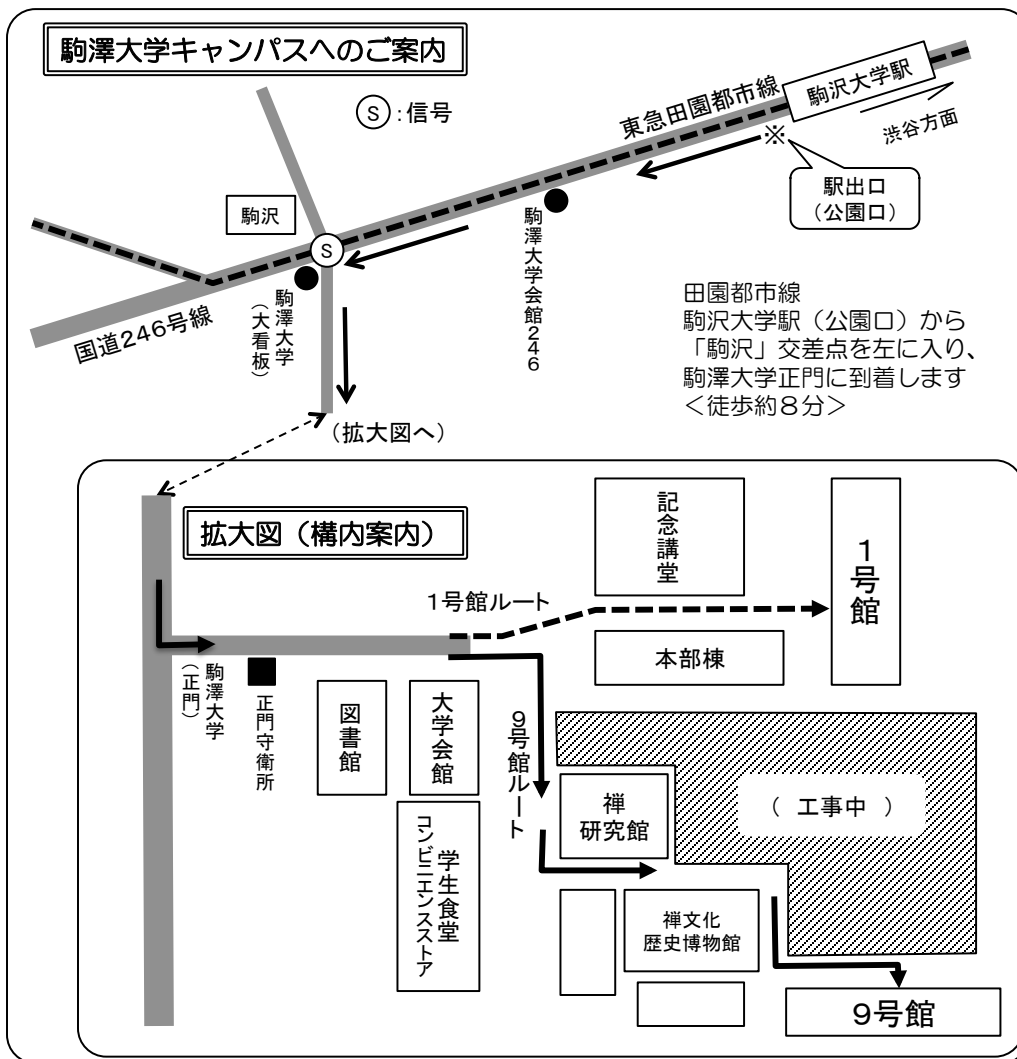
参加費：一般1000円 学生500円

■吉原 毅 (よしわら つよし)

1955年東京に生まれる。慶應義塾大学卒業後、城南信用金庫へ入職。企画部長、市場本部長、専務理事、事務本部長、業務本部長など多数の役職を経験して、2010年に理事長に就任。創業者、加納久宣の墓前で聞こえたという「頼むぞ」という言葉に答えるべく、信用金庫の原点と理想に立ち返り、公益事業に尽くすことを誓う。



2011年3月11日の東日本大震災が起きると、福島第一原発事故の翌日より「原発に頼らない安心できる社会へ」を宣言。被災者支援に従事する傍ら、講演やシンポジウムを実施する一方、金融を通じて自然エネルギーや省エネルギーの推進に力を入れる。脱原発に関する情報を発信するために城南総合研究所を設立。原発再稼働反対、原発即時ゼロに向けて積極的に取り組んでいる。2015年6月に理事長を退任したが、現在は顧問として、多方面で活躍。



9月講演会開催概要	
講師	吉原 毅(城南信用金庫 顧問)
日時	2017年9月16日(土) 14:00~16:00(開場は、13:30)
会場	駒澤大学 9号館 179教室
参加費	一般:1000円 学生:500円(社会人学生は対象外)

お申し込みは、下記項目ご記入の上、FAXまたはeメールにてお申し込みください	
氏名	会員・非会員 (どちらかお選びください)
連絡先(電話)	電話:
連絡先(eメール)	eメールアドレス :(_____ @ _____)
非会員の方は ご住所を:	

(お申し込み年月日: 年 月 日)



一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン 10:00~16:00)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX:(03) 5778-4728
e-mail: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>